

## 日本の歴史 歴代天皇と主な出来事

代	天皇	西暦	元号	特記事項
1	神武	BC660		高千穂から東征し、畝傍山周辺に大和朝廷を創始
2	綏靖	BC581		奈良・高岡に遷宮。神武天皇の第三皇子
3	安寧	BC549		綏靖天皇の第一皇子。母は大国主命の娘
4	懿徳	BC510		安寧天皇の第二皇子。奈良・軽曲峡に遷都
5	孝昭	BC475		懿徳天皇の第一皇子。掖上に遷宮。
6	孝安	BC392		孝昭天皇第二皇子。室秋津嶋に遷宮。
7	孝霊	BC290		奈良・黒田に遷宮。皇女が卑弥呼という説あり
8	孝元	BC214		奈良・堺原に遷宮。武内宿禰の曾祖父
9	開化	BC158		奈良・率川に遷宮。孝元天皇の后を皇后にする。
10	崇神	BC97		武力で国内を平定。大和朝廷の実質的な創始者。
11	垂仁	BC29		奈良・玉垣に遷宮。16人の皇子・女を設ける
12	景行	71		皇子の日本武尊が熊襲、東国、蝦夷を平定。
13	成務	131		景行天皇の第四皇子。建内宿禰を大臣とする。
14	仲哀	192		神功皇后が三韓征伐
15	応神	270		新羅遠征の後に生まれた皇子。新羅からの渡来人受け入れ。
16	仁徳	313		難波・高津の遷宮。堺に陵墓あり。自ら朝鮮に遠征。民のかまどの煙無きを見て、課役を免除。皇后は臣下出身。
17	履中	400		奈良・桜井に遷宮。宋書に倭王「讚」と記載。
18	反正	406		履中天皇の弟。大阪・羽曳野に遷宮。宋書に倭王「珍」と記載。
19	允恭	412		仁徳天皇の皇子。飛鳥に遷宮。氏姓制度を制定。宋書に倭王「済」と記載。
20	安康	453		天理に遷宮。皇后の前夫に暗殺される。宋書に倭王「興」と記載。
21	雄略	456		奈良・桜井に遷宮。皇位継承のため多くの親族を殺害。宋書に倭王「武」と記載。発掘品からワカタケル大王と考えられる。
22	清寧	480		皇后、皇子共に無し。空位の間、飯豊王が統治。
23	顯宗	485		履中天皇の孫。飛鳥に遷宮。
24	仁賢	488		履中天皇の兄。天理に遷宮。皇后は雄略天皇の皇女
25	武烈	498		仁賢天皇の皇子。暴虐非道の天皇。桜井に遷宮。皇子なし。
26	繼体	507		応神天皇の五世孫。皇后は仁賢天皇の皇女。統治範囲、越・近江・美濃・尾張・若狭に拡大。

神代・古墳時代

27		安閑	531		繼体天皇の皇子。皇后は仁賢天皇の皇女。
28		宣化	535		安閑天皇の弟。皇后は仁賢天皇の皇女。
29	飛鳥時代	欽明	539		宣化天皇の弟。 仏教伝来。曾我・物部氏の争い。
30		敏達	572		崇仏・廢仏論。
31		用明	585		欽明天皇の第四皇子。聖徳太子の父。 曾我馬子・聖徳太子が物部討つ。
32		崇峻	587		用明天皇の弟。曾我馬子により暗殺。
33		推古	592		崇峻天皇の妹。初めての女帝。摂政・聖徳太子による統治。 冠位十二階制定。十七条憲法制定。遣隋使派遣。
34		舒名	629		敏達天皇の孫。温泉好き。 遣唐使派遣。
35		皇極	642		舒名天皇の皇后。曾我入鹿が執政。
36		孝徳	645	大化・白雉	皇極天皇の弟。難波宮に遷宮。大化の改新で即位。
37		斉明	655		皇極天皇が再即位。唐・新羅と交戦。中大兄皇子が執政。
38		天智	668		中大兄皇子が即位。近江大津宮に遷都。 大化の改新。戸籍制度。壬申の乱で自害。
39		弘文	671		天智天皇の皇子。
40		天武	673	朱鳥	天智天皇の弟、壬申の乱の勝者大海人皇子が即位。 古事記を編纂。律令制度を整備。
41		持統	690		天智天皇の皇女。天武天皇の皇后。藤原宮に遷都。 律令制度の整備。
42	文武	697	大宝・慶雲	天武天皇の孫。大宝律令。	
43	元明	707	和銅	草壁皇子の後。平城京遷都。 古事記完成。和同開珎発行。	
44	元正	715	靈龜・養老	元明天皇の皇女。 養老律令。日本書紀完成。	
45	奈良時代	聖武	724	神龜・天平 天平感宝	文武天皇の皇子。藤原一族を皇后に。 国分寺、東大寺建立。
46	孝謙	749	天平勝宝	聖武天皇の皇女。母親光明皇后が執政。 東大寺大仏開眼。養老律令施行。鑑真来日。漢詩集・懐風藻完成。	
47	淳仁	758	天平宝字	淡路廢帝となり、逃亡中に死亡。 万葉集編纂開始。	
48	称徳	764	天平神護 神護景雲	孝謙天皇が再即位。 弓削道鏡を法王にする。和氣清麻呂追放。	
49	光仁	770	宝龜	天智天皇の孫。道鏡を左遷、藤原氏を重用。	
50	桓武	781	天応	長岡、平安遷都。母が渡来人系の高野新笠。	

			延暦	比叡山延暦寺創建。
51	平城	806	大同	怨霊に悩んで譲位。
52	嵯峨	809	弘仁	桓武天皇の皇子。 文芸が隆興、空海・金剛峯寺総研。臣籍降下で源姓を与える。
53	淳和	823	天長	桓武天皇の皇子。 安定した時代。
54	仁明	833	承和・嘉祥	嵯峨天皇の皇子。 安定した時代。続日本後記編纂。
55	文徳	850	仁寿・斎衡 天安	仁明天皇の皇子。藤原良房の権力下。 竹取物語・伊勢物語
56	清和	858	貞観	文徳天皇の皇子。藤原良房が摂政。譲位後仏門へ。
57	陽成	876	元慶	清和天皇の皇子。藤原基経が摂政関白。
58	光孝	884	仁和	仁明天皇の皇子。
59	宇多	887	寛平	光孝天皇の皇子。譲位後も上皇として実権を持つ。朝廷文化、文芸、仏教の発展に寄与。 遣唐使廃止
60	醍醐	897	昌泰・延喜 延長	宇多天皇の皇子。菅原道真と協力して執政。その後道真を太宰府へ左遷。古今和歌集
61	朱雀	930	承平・天慶	醍醐天皇の皇子。 天災、争乱が続く。平将門の乱。藤原純友の乱。紀貫之・土佐日記
62	村上	946	天曆・天徳 応和	醍醐天皇の皇子。文芸活動隆盛。
63	冷泉	967	康保・安和	村上天皇の皇子。摂政藤原実頼が実権を持つ。精神的に問題あり。
64	円融	969	天禄・天延 貞元・天元	村上天皇の皇子。
65	花山	984	永観・寛和	冷泉天皇の皇子。皇族の権力闘争で退位。芸能で活躍。
66	一条	986	永延・永訴 正暦・長徳 長保	円融天皇の皇子。藤原道長と協力。 文芸が大きく振興。清少納言・枕草子、紫式部・源氏物語。医術書・医心方編纂。
67	三条	1011	寛弘・長和	冷泉天皇の皇子。 藤原道長と対立。
68	後一条	1016	寛仁・治安 万寿・長元	一条天皇の皇子。 藤原道長を摂政にする。
69	後朱雀	1036	長暦・長暦 長久・寛徳	一条天皇の第三皇子。藤原道長の孫。叔母との間に皇子を設ける。 天災・人災が相次ぐ。

70	平安時代	後冷泉	1045	永承・天喜 康平	後朱雀天皇の皇子。藤原道長の孫。 藤原頼道が関白。源頼義・鎌倉鶴岡八幡神社総研。全九年の役。
71		後三条	1068	治暦・延久	後朱雀天皇の第二皇子。 荘園整理令・
72		白河	1072	承保・承暦 永保・応徳	後三条天皇の皇子。幼少の堀河天皇に譲位後、上皇として院政。 後三年の役。源氏・平氏の台頭。
73		堀河	1086	寛治・嘉保 永長・承德 康和・長治 嘉承	白河天皇の第二皇子。白河上皇院政。和歌や音楽を好む。
74		鳥羽	1107	天仁・天永 永久・元永	堀河天皇の皇子白河上皇院政。。
75		崇徳	1123	保安・天治 大治・天承 長承・保延	鳥羽天皇の皇子。白河法皇、鳥羽上皇の院政。 中尊寺金色堂建立。
76		近衛	1141	永治・康治 天養・久安 仁平	鳥羽上皇の側室の子。
77		後白河	1155	久寿・保元	鳥羽天皇の第四子。 源氏・平家により藤原氏滅亡。保元の乱。
78		二条	1158	平治・永暦 応保・長寛	後白河天皇の皇子。後白河上皇が院政。 平治の乱。公家社会を作る。
79		六条	1165	永万・仁安	二条天皇の第二皇子。後白河上皇が院政。 平清盛が太政大臣となる。
80		高倉	1168	嘉応・承安 安元・治承	後白河上皇の皇子。平清盛の娘を皇后に。笛の達人。
81		安德	1180	養和・寿永	高倉天皇の皇子。後白河上皇が院政。神戸福原宮。安德天皇入水、平家滅亡。
82		後鳥羽	1183	元暦 文治・建久	高倉天皇の第四皇子。源流刑地隠岐にて逝去。 頼朝、奥州藤原氏を滅ぼす。源頼朝、征夷大將軍となる。 西行・三家集。栄西・臨濟宗。
83		鎌倉時代	土御門	1198	正治・建仁 元久・建永 承元
84	順徳		1210	建暦・建保	後鳥羽天皇の皇子。詩歌・音楽に没頭。佐渡に流刑。 禁秘抄著作。鴨長明・方丈記。
85	仲恭		1221	承久	順徳天皇の皇子。 北條氏の執権政治確立。承久の乱。

86	鎌倉時代	後堀河	1221	貞応・元仁 嘉禄・安貞 寛喜・貞永	後高倉院の第三皇子。 北條泰時執権。
87		四条	1232	天福・文暦 嘉禎・暦仁 延応・仁治	後堀河天皇の皇子。外戚九条家が実権を持つ。 御成敗式目制定。藤原定家・新勅撰和歌集・百人一首。 永平寺総研。
88		後嵯峨	1246	寛元	土御門天皇の第2子。四条天皇の事故死により即位。 北條氏が執権。西園寺家が実権を持つ。
89		後深草	1246	宝治・建長 康元・正嘉 正元	後嵯峨天皇の皇子。後継問題で大覚寺統と持明院統に 分立。 鎌倉幕府の勢力強し。平家物語。日蓮・法華宗。
90		亀山	1259	文応・弘長 文永	後嵯峨天皇の皇子。大覚寺統の初代天皇。 南禅寺を創建。金沢文庫。
91		後宇陀	1274	建治・弘安	亀山天皇の第二皇子。 元寇・文永の役・弘安の役。
92		伏見	1287	正応	後深草上皇の皇子。書が達筆。
93		後伏見	1298	永仁・正安	伏見天皇の皇子。
94		後二条	1301	乾元・嘉元 徳治	後宇多天皇の皇子、後醍醐天皇の異母兄。
95		花園	1308	延慶・応長 正和・文保	伏見天皇の第三皇子。伏見上皇、後伏見の院政。仏教と 文芸に専念。
96	南北朝時代	後醍醐	1318	元徳・正慶 建武・暦応 康永	後宇多天皇の第二皇子。鎌倉幕府、室町幕府と対立。 楠木正成・千早城の戦い。鎌倉幕府滅亡。建武の中興。 吉野に行き南朝を創設。南北朝が対立。足利尊氏・征夷 大將軍となる。吉田兼好・徒然草。
		後村上	1339	正平	後醍醐天皇の第八皇子。南朝の勢力回復に努める。幕府 より京都を奪回。
		長慶	1368	建徳・文中 天授・弘和	後村上天皇の皇子。 足利義満・室町に移る。太平記。
		後亀山	1383	元中	後村上天皇の皇子。 足利義満に進言により三種の神器を後小松天皇に返 還、南北朝を統一。
		後小松	1382	至徳・嘉慶 康応・明德	後円融天皇の皇子。正当な天皇として京都へ。 一休和尚は実子と言われる。金閣寺造営。
	室町時代	称光	1412	応永・正長	後小松天皇の皇子。
		後花園	1428	永享・嘉吉 文安・宝徳 享徳・康正 長禄	崇光天皇の曾孫。 足利学校再興。新新古今和歌集。

		後土御門	1464	寛正・文正 応仁・文明 長享・延徳	後花園天皇の皇子。 応仁の乱。文明の乱。東山山荘。銀閣寺建立。
	安 土 桃 山 時 代	後柏原	1500	明応・文亀 永正・大永	後土御門天皇の皇子。 桶狭間の戦い。鉄砲伝来。
		後奈良	1526	享禄・天文 弘治	後柏原天皇の皇子。
		正親町	1557	永禄・元亀 天正	後奈良天皇の皇子。 長篠の戦い・織田信長。本能寺の変。豊臣秀吉・関白。方 広寺大仏殿建立。
		後陽成	1586	文禄・慶長	正親町天皇の孫。豊臣秀吉を重用。 関ヶ原の戦い。徳川家康を将軍に任命。江戸幕府。平戸 でオランダ貿易。
	江 戸 時 代	後水尾	1611	元和	後陽成天皇の皇子。徳川秀忠の娘を皇后にした。 禁中並公家諸法度、紫衣事件、無位の春日局拝謁など、 朝廷の権威を失墜。大阪冬の陣・夏の陣。キリスト教禁 止令。
		明正	1627	寛永	後水尾天皇の皇女。 参勤交代開始。島原の乱。
		後光明	1643	正保・慶安 承応	後水尾天皇の皇子。 由井正雪の乱。鎖国。
		後西	1654	明暦・万治 寛文	後水尾天皇の皇子。文芸著作活動に専念。 大日本史編纂。
		霊元	1663	延宝・天和 貞享	後水尾天皇の皇子。朝廷の復権を試みる。 市川團十郎・江戸で歌舞伎公演。井原西鶴・好色一代男
		東山	1687	元禄・宝永	霊元天皇の第四皇子。 徳川綱吉・生類憐みの令を出す。赤穂浪士討ち入り。松 尾芭蕉・奥の細道刊行。
		中御門	1709	正徳・享保	東山天皇の第五皇子。芸能に秀でた。 荒井白石を登用。享保の改革。享保の大飢饉。
		桜町	1736	元文・寛保 延享	中御門天皇の皇子。朝廷の儀式復興に尽力。
		桃園	1747	寛延	桜町天皇の皇子。学者として有名で、垂加神道に関心を 持つ。 宝暦事件。
		後桜町	1762	宝暦・明和	桜町天皇の皇女。多くの和歌を詠む。 尊王攘夷弾圧・明和事件。
	後桃園	1770	安永	桃園天皇の皇子。 天変地異が続く。	

		光格	1779	天明・寛政 享和・文化	閑院宮家典仁親王の皇子。 天明の飢饉。
	江戸時代	仁孝	1817	文政・天保 弘化	光格天皇の皇子。 御所内に公家子弟の教育を行う修学所を設置・後の学習院。シーボルト事件。天保の飢饉。
		孝明		嘉永・安政 万延・文久 元治・慶応	仁孝天皇の皇子。 ペリー来航。安政の大獄。桜田門外の変。戊辰戦争。
		明治	1867	明治	孝明天皇の皇子。 幕府より大政奉還・明治政府樹立。憲法制定。日清戦争。日露戦争。日本の近代化。
	現代	大正	1912	大正	在位後半は病気により皇太子を摂政とした。 日韓併合。第一次世界大戦。
		昭和	1926	昭和	太平洋戦争。憲法制定。国民統合の象徴。GDP 世界第二位。生物学研究者。
		平成	1989	平成	民間出身の皇后。
		令和	2019	令和	